

実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
養老町	室原	令和2年12月23日	令和3年12月14日

1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	121ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	121ha
③地区内における70才以上の農業者の耕作面積の合計	0.7ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	0.7ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.7ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.7ha
(備考)	

2 対象地区の課題

地域の中心経営体は2経営体であるが、Aが大部分を担っており、補完する形で1名の農業者が地域の水田農業を担っている。圃場整備も進んでいる地域のため麦・大豆の2毛作体系により生産調整も行われているが、経営所得安定のため今後は高収益作物の転換を進めて行く必要がある。

注:「課題」欄には、「現状」を基に話し合いを通じて提示された課題を記載してください。

3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

室原地区の水田利用は、2経営体が農業経営を担い、主食用米、小麦、大豆、野菜等を中心とした作付を行い人・農地プランに基づいた農地集積を進めていく。

4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

高齢化等に伴い農業をリタイアし農地の所有者が農地を農地中間管理機構に転貸したあとは人・農地プランに基づいて農地を貸し出すこととする。